

方針	基本施策項目	前主な取組	改主な取組	施策(事業)概要	取組への意見・提案	反映状況	委員				
					28個にも細分化され、分かりにくい。分けられた各パート単発で実施されていて効果が出にくいのではないか。	ご意見のとおり、重要評価数値を12個とし、方針ごとに目標数値を設定しました。	柴田				
					【方針1】多面的機能の発揮に向けた森林づくりでは、分かりにくいと思う。	P22 ご意見のとおり【方針1】を「市民の安全・安心を守る森林づくり」に改めました。	竹田				
【方針1】 市民の安全・安心を守る森林づくり	(1) 災害に強い森林づくり	19	路網整備と維持管理	①	山地災害危険地区等の災害の未然防止	山地災害危険地区等（山地災害が起こりやすい危険な箇所）について、緊急度や市民生活への影響度の高いものから、治山事業の実施を滋賀県等関係機関と連携して予防・早期復旧を行います。					
				2	林道の維持管理、早期の復旧対策	・林道の安全な通行を確保するため適切な維持管理を行います。 ・大雨や台風および降雪により被災した林道については、林道の改良工事や災害復旧工事により早期の通行を確保します。					
		28	滋賀県災害に強い森林づくり事業（里山防災・緩衝帯整備事業）	3	滋賀県災害に強い森林づくり事業	・野生獣の生息防止を目指した、枯損マツ、ナラ等の伐倒、上層木の抜伐、侵入竹の伐採および処分を進めます。 ・重要な生活基盤の関連施設等に隣接し、風倒木被害による重大な影響を生じる恐れのある森林の予防伐採を進めます。	数値として表れている達成率が低いが、他の事業との統合とを見越しているという理解でいいだろうか。	自治会からの要望によって実施する事業のため、年によって波がある事業となっています。	原田		
						取組内容を実施面積とするのが適切でないものもある気がします。	ご意見を参考とさせていただきます。	平井			
						課題と記載がある、県予算の見直し（削減）などで整備実施ができなくなっている件、（3）②③などの事業の活動場所として実行したり、地域住民に活動を見学してもらうことも、森林に対して身近に感じたり親しみに繋がる相乗効果と呼ぶのではないが。	・県内要望が増加しているため長浜市への配分が縮小している現状はありますが、自治会からの要望を受けて森林組合に委託し整備する事業であり、要望をしっかりとつなげていきたいと考えています。 ・整備後に5年間の自治会の維持管理が必要な事業ですが、維持管理が行われない森林が多く、ご意見を参考にさせていただきます。	柴田			
		25	松林健全化促進事業	4	森林病虫害対策	マツ枯れ、ナラ枯れについては、近年収束しつつありますが、必要に応じて樹幹注入等の防除、被害拡大に備えて早期発見に努めます。	自治会からの要望は現在何件ありますか又地区は。	現在、東上坂町で、今年度1件、来年度1件の要望があります。	雨森		
						対象地は売却されたとのことだが、松くい虫は処理されずそのままなのが少し気になった。	計画をしていた対象地については、売却後に伐採・開発されました。	原田			
		22	環境林整備	7	環境林整備事業	⑤	山林火災予防対策	山林火災予防の広報活動を適時適切に行い、未然防止を基本とした対策を行います。	山本山から賤ヶ岳の尾根は松の木枯れが目立つ。古墳群があったり、賤ヶ岳の歴史などでも人気ある散策コースなので整備されるといいなと思う。	ご意見を参考とさせていただきます。	柴田
						⑥	伐採届出制度の適正な運用	伐採届について、市のホームページや広報を通じて、森林計画制度の周知徹底を図り、適正な伐採届の提出を促進し、伐採跡地を適正に管理するよう指導を行います。			
						道から距離があり採算が合わない等の理由による森林整備の実施が困難な森林について、水源涵養や災害防止などの機能の高い「環境林」への誘導を促進します。	業務委託している場合でも、参考までに予算規模が分かった方が望ましい。	業務委託ではなく県主体事業のため、市からは補助金が出ていませんが、市は森林組合との協定締結等の協力をしています。	原田		
	(2) 森林の生物多様性の保全	27	ニホンジカ対策【農業振興課】	8	ニホンジカ対策【農業振興課】	森林においては、過度な採食による植生の衰退も見られ、このような状態が続けば農林業だけでなく、土砂の流出等の公益機能の低下や自然生態系そのものにさらに深刻な影響を及ぼすことが予想されるため、生息数や被害状況を適切に把握しつつ、捕獲を実施します。	以前、捕獲したシカの肉を使ってカレーを作るなどの取り組みがなされていたと記憶している。何らかの有効利用法を開発することにより、予算不足を解消できないものかと思った。	ご意見を担当課「農業振興課」と情報共有し検討していきます。 【農業振興課コメント】 ・滋賀県内において、ニホンジカが分布可能な地域には、ほぼ全て定着しています。 農作物被害額は、減少傾向にありますが、生息密度は依然として高い状況にあり、捕獲圧を高める必要があります。 滋賀県ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画（第4次）では、平成25年度の県内推定生息数約57,000頭を10年後（令和5年度）を目指し、早期に半減させることとされています。 【参考 令和元年度】 ニホンジカの県内推定生息数の中央値 約41,000頭 湖北地域の推定生息数の中央値 約18,000頭 捕獲目標 県内全域19,000頭（捕獲実績15,803頭） 湖北地域4,900頭（捕獲実績5,647頭）	原田		
						タブノキ林保全再生事業、鳥獣害防止施設整備事業、ニホンジカ対策はほかの事業や予算を削ってでも優先すべき事業だと思います。			平井		
						予算を削減する項目と、維持する項目、増額する項目を今一度取捨選択する必要がありますか？			鳥居		
						全体でどれくらいの鹿がいるのか、捕獲数は何%くらいなのか知りたい。獣害としてしまわず、山の恵みとして、食べたり、皮を利用したりと活用したい。 獣害として排除してしまう一択ではなく、鳥獣との棲み分けやバランスに繋がる施策も考えたい。			柴田		
		21	タブノキ林保全再生事業【農業振興課】	⑨	竹生島のカワウ対策【農業振興課】	竹生島タブノキ林の保全再生に向けた、モニタリング・カワウの捕獲を行います。	カワウの捕獲と植生被害モニタリング調査の実施も事業概要に入っているので、植樹以外にこれらの実績も数値としてよいのではないか。	P28 ご意見のとおり、今後の取組を、農業振興課と協議し「カワウの捕獲」と変更しました。 ご意見を担当課「農業振興課」と情報共有し検討していきます。 【農業振興課コメント】 ・カワウについては、活動範囲が広域に及ぶことから、滋賀県全域での滋賀県カワウ第二種特定鳥獣管理計画（第4次）が策定されており、生息数目標が4,000羽に設定されています（令和5年度約18,000羽）。 ・本市においては、米原市と共に湖北地域鳥獣被害防止計画を策定し、カワウの捕獲を実施しています（令和5年度捕獲計画数2,900羽）。	原田		
						タブノキ林保全再生事業、鳥獣害防止施設整備事業、ニホンジカ対策はほかの事業や予算を削ってでも優先すべき事業だと思います。			平井		
						達成評価の取組内容が植樹本数ではないように思う。 植樹して育っている確認が必要。以前の竹生島の姿にどれだけ戻せたか、（木の数、鳥の数など）を指標にできるといいのではないか。			柴田		
						モニタリング調査と視察をしたい。			雨森		
		26	鳥獣害防止施設等整備事業	10	鳥獣害防止施設等整備事業	スギ・ヒノキ等の人工林において、テープを巻くことでシカ・クマ等による剥皮被害を防止し、森林資源の保全を促進します。	令和4年から令和5年にかけて実績が急に低下している。通常のテープと生分解性テープの差額を措置するという形で事業は続けられないものだろうか。	ご意見を参考に、支援内容について検討します。	原田		
						タブノキ林保全再生事業、鳥獣害防止施設整備事業、ニホンジカ対策はほかの事業や予算を削ってでも優先すべき事業だと思います。			平井		
						予算を削減する項目と、維持する項目、増額する項目を今一度取捨選択する必要がありますか？			鳥居		
					テープ巻きの効果はどれくらいあるのか知りたいです。ビニールのテープが巻かれているスギヒノキを見るのは苦しそうで、スギヒノキにしか巻かれているのを見ないので、違う樹種だと被害がないのか？や、何か他の方法があれば剥皮被害の知りたい。	テープ巻きは、ニホンジカやツキノワグマによる人工林の樹皮剥ぎ被害対策の一つです。国・県事業の上乗せ分として森林組合に対し補助しています。	柴田				

方針	基本施策項目	前主な取組	改主な取組	施策(事業)概要	取組への意見・提案	反映状況	委員
【方針2】 森林の魅力の発信と次代の森林を支える人づくり	(1) 森林の大切さの啓発と魅力の発信	1 広報媒体による森林・林業の情報の発信	11 広報媒体による森林・林業の情報の発信	広報ながはま、本市ホームページ等 多様な情報ツールを活用し 、森林の多面的機能等の情報や、森林整備の手法等 市民の理解が深まるような情報発信 をします。	広報誌の作成にはあまりコストはかからないかもしれないが、広報誌の作成には印刷費等が発生していると思われる。財源が異なる場合、予算をゼロとて記載しているようである。どれくらいの規模の事業なのかを見積もるためにも、参考として他の財源からであっても支出額を記載してはどうか。 1. 里山保全活動をしているグループの活動内容と場所の紹介 2. 活動への参加方法等のPR 森林に興味がないとホームページをみる機会は少ないと思います。 森林に興味がいない人でも見る機会のある広報誌の実績がR5年度1件は少ないので、もっと増やしたほうが良いと思います。 広報やホームページは気になった人が自ら見に行く。という行動が必要なので、SNSなどで情報発信チャンネルを作り、登録してもらい、情報の発信ができると、より多くの人に情報が行き渡ると考えます。	予算額が把握できる事業については、財源が異なる場合でも記載していきます。 P31「多様な情報ツールを活用し」「市民の理解が深まるような情報発信」と記載しました。 ・市広報、HPのほか、森林マッチングセンターへ委託し、多様な発信媒体（SNS等）を活用した広報を実施しています。 ・多様な広報媒体を使い、市民の理解が深まるような情報発信をしています。 ・活動団体に、滋賀県の「森づくりネット・しが」への登録を促し、情報の発信をしていただけるよう案内していきます。	原田
		生月					
		2 森林多面的機能に関するイベントの開催や支援	12 森林多面的機能に関するイベントの開催	市民が森林の有する多面的機能に対する理解や関心を高められるイベント等の開催を行います。	業務委託している場合でも、参考までに予算規模が分かった方が望ましいのではないかと推察される。②で森林での活動に親しんだ子供たちが少し成長してから勧誘する（あるいは、小学生や中学生の兄弟を対象とする）など。 1. 森づくりに興味を持ってもらうイベントや講座を市民に広く知ってもらい、気軽に参加し、体験することが大事。 予算もついてなく、支援とは具体的に何をすることなのか知りたい。 参加層の拡大とイベント開催日程、計画は出来ているか。	ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。 市民の理解が深まるような情報発信をしています。 P31 委託して実施していた事業で支援としていましたが、「支援→行います。」に改めます。 多様な発信媒体で募集し、参加層の拡大に努めます。	原田
		生月					
		3 木育活動支援事業	13 木育活動支援事業	子ども達が幼いころから木製おもちゃに触れ合うことや、 森林を使って楽しむ体験をすることで 、木の香りやぬくもりを感じて感性豊かな心の発達を促し、森林に対する親しみや木の文化への理解を深める取組を進めます。	保育園や幼稚園での体験事業は、いったん高評価を得ると恒例の行事となることが多い。このようなところから、活動を拡大していける可能性があると思う。R5予算額とR6予算額の枠の（ ）内の数字が何か聞き洩らした。 1. 子ども（小・中）が山に入って遊ぶことがない（遊び方を知らない）、食べられる草木の実を知らないし、食べることもない。また、昆虫類を見つける、捕獲することもない。小川にいる魚やカニ等も捕獲したり遊びも満ちてきている。子どもの時に体験することが将来目を向けてもらうきっかけになる。 2. 子どもが色々な体験でもモデル山の山づくりをすると共に、子どもに身近な山には楽しみが沢山ある事を教える 3. 子どもにも山に入ってもらうことが必要 資料にて子供たちへの配布は確認できました。体験とあるのは子供達または親子で木製の遊具（竹馬等）を作ったりするというのでしょうか？ こども達だけではなく、親世代や大人達に対しても、森林に対する親しみや木の文化への理解を深める取組があるとういと思う。 木製おもちゃに触れ合うこと＝森林に対する親しみや木の文化への理解。というゴールは難しいと考えます。 昨今の子供たちは、私が子供の頃の4-30年ほど前よりも山や原野で遊ぶ機会がないように思います。 森林での遊び方を教えてあげることが木育ではないかと考えます。 木の香り、親しみのある木製の、サービス、販売をしては。	P31 ご意見のとおり、「森林体験」、P32「森林を使って楽しむ森林体験」と記載しました。 ・森林マッチングセンターと連携し、教育・保育施設や一般公募の親子を対象にした体験型木育（森の中での遊び、学習等）に取組んでいます。	原田
		生月					
		7 森林環境学習「やまのこ」事業	14 森林環境学習「やまのこ」事業	子どもたちの森林への理解と関心を深めるため、小学校4年生を対象に森林環境学習施設において 森林・林業体験学習等を行います。	1. 子供に草刈りや枝切り等を鎌や剪定鋏等を使い体験してもらう 近くに森林資源があるのに1回というのはもったいない気がしました。市が独自に中学生を対象に森林整備などの体験学習があってもよいのでしょうか。 普段からこども達の教育に携われている学校の先生の森林の大切さや保全の重要性に対する理解や知識を深めていただく施策があると良いと思う。 うみのこは認知度が高いが、「滋賀県の小学4年生は皆やまのこを体験する」という認知度が低い。対象の子どもやそれに関わる親ぐらいのみ、やまのこについて認識している人が少なく感じる。 やまのこの実施内容等に対しては管轄が違うように思うので、対象者以外の市民にそのような取組があることを広く知ってもらうことが、市の、この事業でできることなのではないかと考えました。（私自身、やまのこサポーターとしてやまのこに関わっているので状況や管轄が大体理解でき、この事業でやるべきことについての的が絞れたように思います） 体験学習会等の実施校、内容は例年どうりか。	市民の理解が深まるような情報発信をしています。 例年どおり実施しています。	原田
		平井					
		8 緑の少年団事業	15 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		9 長浜の自然と森に親しむ体験交流事業	16 長浜の自然と森に親しむ体験交流事業	山門水源の森や奥びわ湖桜並木をはじめとする地域資源を活用し、自然環境教育の推進を行い 交流人口の増加を図ります。	てんぐず病がみられる樹木は2100本程度と算出され、毎年170本程度の保全を行うと12年くらいかかる計画だが、確実に実績を挙げている事業のようである。 桜は人気があるのでもっと色々できそうな気がします。 「人づくり」が目的なので、桜並木保全本数ではなく、年代・人数などどれだけの人が受講したかを指標にした方がいのではないかと。 奥琵琶湖桜並木260本のうち65%の桜でテグス病が確認、予算が無駄にならないよう適切な管理に引き続き取り組んでもらいたい。	引き続き取り組んで参ります。 P32 交流人口の増加を目的としており、「地域資源を活用し、自然環境教育の推進を行い交流人口の増加を図ります」に改めます。 引き続き取り組んで参ります。	原田
		平井					
		10 緑の少年団事業	17 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		11 緑の少年団事業	18 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		12 緑の少年団事業	19 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		13 緑の少年団事業	20 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		14 緑の少年団事業	21 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		15 緑の少年団事業	22 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		16 緑の少年団事業	23 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		17 緑の少年団事業	24 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田
		18 緑の少年団事業	25 緑の少年団事業	「緑を愛し、緑を守り育てる」目的で活動している緑の少年団を支援します。	助成事業は緑の少年団育成強化事業助成金を得て、滋賀県緑化推進会が行っていると資料にあり、長浜市としてはどのような支援を行っているのかよくわからなかった。 植樹祭に向けて、少年団の活動を盛り上げようとする機運が高まったが、その後もさらに発展するように支援する取組が進められることを期待する。 予算もついてなく、支援するとは具体的に何をすることなのか？	緑の募金を財源に、学校単位で学習・ボランティア・レクリエーション活動に取り組む、緑の少年団の活動、学校林の整備等を支援しているものです。	原田

方針	基本施策項目	前主な取組	改主な取組	施策(事業)概要	取組への意見・提案	反映状況	委員
(2) 次代の森林を支える人づくり		10 林研グループ育成事業	17 林業研究グループ育成事業	森林・林業の知識や技術の普及・研究活動を通じた人材育成を行う林業研究グループ等の人材育成活動を支援します。	会員の高齢化が問題との指摘があったが、この点についての対策はとられているのだろうか。	高齢化に伴い会員数が減少していることが課題で、総会等において若年層の加入をお願いしています。	原田
				支援するとは具体的に何をすることか？ 林業研究グループがどんな活動をされているのか知りたい。 達成評価基準がグループ数となっているが、グループ数では効果が測れないように思う。		・林業に関する研修・研究、森林整備などを行う団体で、会員数、活動実績に応じて補助金を交付しています。 ・人口減少、高齢化が進み組織を維持することも困難となっており、グループ数を評価値としています。	柴田
				伊香高生の新学科の授業が始まっています。注目すべきところである。	P31 ご意見のとおり、「伊香高校に新設される「森の探求科」のカリキュラムの作成、教育プログラムに協力します。」と記載しました。 ・伊香高校のカリキュラム分科会に参加し検討を行っています。	雨森	
		11 自伐型林業推進事業	18 林業養成・体験講座の開催	・林業のすそ野を広げられるよう、林業機械の操作について講座等を開催します。 ・市内の森づくりの担い手や森林活動団体等を対象に、伐採や搬出作業、作業道敷設等、実践につながる森林施業の養成講座を開催します。	自伐型林業推進事業と林業体験講座の開催については、統合してはどうか。	P34 ご意見のとおり、取組を統合しました。	原田
				講座開催の場所を、予算や高齢化、人員不足などの理由で整備できなくなった場所にすることはできないか？	市有林の有効活用として、講座開催場所を市有林で行っています。ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。	柴田	
				隣の岐阜県には、岐阜県立森林文化アカデミー（https://www.forest.ac.jp/）という専門学校があり、林業に興味を持った人がどこにコンタクトをとるか明確になっているという印象がある。林業に潜在的に興味を持っている人は多いと思う。きのこなど特用林産物が初心者には取り組みやすいかもしれない（4→④とも関連）。	特用林産物の講座は参加数も多く、この講習をきっかけとして、林業講座に誘導して行きたいと考えています。	原田	
		12 林業体験講座の開催		産業全体で人手不足の問題があると思いますが、そうした中で林業は職業として選ばれるものなのでしょうか。 従事者が増えないという事だと問題はどのようなところにあるのか整理してみたいです。 Q:近年の森林組合と林業事業体の新規就労者や従事者の推移を教えてください。		重要な視点であると認識しておりますが、今回の方針策定の中で議論をしくことが難しいと考えます。今後施策を進めながら議論していきたいと考えております。 ・林業の新規就業者について、長浜市の統計はありませんが、滋賀県内で森林組合1名林業事業体8名の新規就業者があります。	竹田
				自伐型林業がどういったものが展示解説している場所があるといいなと思う。野鳥センターのように、森や木を知ることができるセンターがあると森林や林業が身近に感じることができるのではないか。 次世代の子どもたちが林業という職業を知るきっかけが持てる場が必要。	ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。	柴田	
				「地域おこし協力隊」により、本市における自伐型林業等のモデルづくりに取組みます。	業務委託している場合でも、参考までに予算規模が分かった方が望ましい。特に、若い林業従事者を増やすには、他の産業と比べて待遇面でどうなのかが可視化されることが重要であると思う。	予算額が把握できる事業については、財源が異なる場合でも記載していきます。	原田
		13 林業従事者育成推進事業	19 林業従事者育成推進事業		協力隊の現状と、満了後の活動状況について知りたい。詳しく。	別紙	鳥居
				予算もついてなく、取り組むとは具体的に何をすることなのか？	長浜市の多様な山林資源を活かした自伐型林業（副業型林業）に取り組んでいただき、どのような兼業スタイルが実現可能かのモデルづくりに取り組んでいます。	柴田	

方針	基本施策項目	前主な取組	改主な取組	施策(事業)概要	取組への意見・提案	反映状況	委員
【方針4】 多様な主体 による森林 づくり	(1) 市民 参画の推進	4	28	長浜市森林多面的機能推進事業	ホームページ (https://www.city.nagahama.lg.jp/0000005979.html) を見たが、どのような事業かの説明を見ようと思うと交付要領や実施要領の書類を読まねばならないのがハードルが高い感じがした。事業の概要や締切等が一目でわかるようなポスターかパンフレットを作成してはどうか。	わかりやすい情報発信に努めます。	原田
					1. 森林多面的機能維持管理事業の補助金のアップ ・横山はらっぱ倶楽部は補助金を受けているが、支出の2／3の補助なので自己資金が必要 ・10万円までは活動で生じた費用は全額補助してほしい。(自己資金は年会費千円のみで活動が出来なくなる) 自己資金の年会費の値上げを検討中 千円から2千円へ(会員の減少懸念) ・スポンサーがない(夏原グラントは使用済み)	ご意見を参考に、支援内容について検討します。	生月
					森林多面的に関わらず森林系の補助事業のなかに、震災被災地支援で耳にしたブッシュ型のもを入れてはどうか。森林組合や森林MCへの支援の簡易版のような形で、地域が改善・解決していきたい課題に対して、長らく貢献している、または活動方針が良いという団体をピックアップし後押しすることにより、活動の継続や活性化を図る。 ・優先項目と支援先のピックアップの基準や方法は？・応募型よりも限られた予算の有効かつ効果的な活用・譲与税のオリジナルの活用・支援を受ける側は、もらって終わりではなく、やっているから支援がつく認識・森林政策に貢献するということでは表彰の形でも？	ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。	竹田
					会議で予算額を上げてほしいという意見があったので検討して欲しいです。	ご意見を参考に、支援内容について検討します。	平井
					予算が3割近くカットされてます。 広く浅くなのか深く狭くなのか方針を定めるべきでは？	ご意見を参考に、今後施策を進める際の参考とさせていただきます。	鳥居
					前回、活動団体の高齢化、メンバーの減少が課題と話が出ていました。 どんな団体を支援していて、どんな効果があるのかなどを発信して、活動する仲間を増やせたらいいのではないかと思います。	活動団体に、滋賀県の「森づくりネット・しが」に登録を促し、情報の発信をしていただけるよう案内していきます。	柴田
					すべての活動に対しての予算のあり方について事前に計画を立て資金の要望を提出するべきであると思います。	予算については、前年度の実績、問い合わせ件数に基づいて要求しており、計画を立てて要求しています。	雨森
		23	長浜市森林多面的機能推進事業 (再掲)	1. 横山・小谷山・虎御前山・山本山・舘山寺・賤ヶ岳合戦砦等史跡は多くある。史跡と森林整備・保全を行い看板設置を行い、史跡巡りハイキングコースのモデルを作成し、ガイドによる案内をする。ガイドは史跡と森林について案内する	ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。	生月	
				観光にもつながりそうな印象を受けるのでやるべきことかなと思いますが、イマイチ何をしているのかわかりません。	多面的機能推進事業で、文化機能の維持管理を図る取組として支援しています。	平井	
				近頃近隣のお寺や神社の大きな木の伐採されることが多く、そういった身近にあった木にも触れ合う機会もなくなって残念に思う。(1) (2)(3)にも繋がることで、身近な木を大切にすることを啓蒙したい。お寺や神社は管理者が市ではないので言えないのでしょうか？	「長浜市住みよい緑のまちづくりの会」が【樹齢を重ねているなどの由緒ある樹木】として指定され、長浜市で90本指定されています。(市ホームページ掲載)伐採について制限するものではありません。	柴田	
	5	29	みどりの里親制度 【都市計画課】	令和6年に何本植樹できるかは、その2年前の令和4年にどんぐり育成ポットを受け取ってくれた人が何人いるかですである程度決まっていると思われる。植樹会の参加が低迷している理由が、どんぐり育成に参加してくれる人が少ないからか、植樹のイベント自体にあまり人が集まらないからか、どちらかによって対応策は異なるのではないかと。	ご意見を担当課「都市計画課」とも情報共有し検討していきます。	原田	
				1. どんぐりや色々な木を植えると共に、毎年見に行き、木の成長の実感と環境整備も体験してもらう	【都市計画課コメント】 ・令和5年度は、旧長浜サイクリングターミナル跡地周辺(名越町)にて、横山はらっぱ倶楽部の協力を得て植樹会を実施しました。 ・どんぐり育成ポットを配布し2年後に植樹会に参加いただく事業であるが、植樹会への参加率が低迷しているため、代替事業も視野にいれ、興味を持ってもらえるような工夫を検討していく。	生月	
				コンセプトは良いと思いますが、スタートからゴールまでに2年以上かかるのは長いです。植樹会不参加の理由はわかりませんが、苗木を育てられなかった、飽きてしまったということもあるのではないのでしょうか。ほかの項目にも言えることですがなぜこの指標になるのか明確にしてほしいです。 例えば育成ポットの配布20に対して過半数以上植樹の10を指標としているなど。	平井		
				この事業を見直すなら、予算を他に回すべきでは？	鳥居		
				山に行かない家庭でも、家で観葉植物を育てている家が多いと思います。育てる植物を市内に生える種類の木にすると、森林に対する親しみや山に対する思いも湧くのではないかと考える。(私も家でムクロジやクロモジ、カラスザンショなど長浜の山の木を育てています)木が家庭で大きく育ったら、植樹をしたり、また種子から育てたり、山に行くきっかけになり森林と関わる循環に繋がれば良いと思います。	柴田		
			本年候補地の計画は・・・		雨森		
(3) 市有林の有効活用	24	市有林有効活用事業	30	市有林有効活用事業	・地域おこし協力隊や新規参入者(講習参加者)のフィールドとして提供し、市有林を有効に活用します。 ・地域住民が親しむための森づくりを地元と連携して進め、森林の空間利用を促進します。	今後も地域おこし協力隊と連携して市有林を有効に活用していきます。	原田
					市産木材を活用した遊具施設などを建築すれば木育の場にもなり良いのではないのでしょうか。	ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。	平井
					商品というモノだけではなく、体験で付加価値ある場所として生かせるといいのではないかと。 木登りとかできる場所があったり、林業の仕事が体験できたり見学できる場所に活用できるといいなと思う。	柴田	
					地元と連携、市有林の具体策は。	地域おこし協力隊や新規参入者(講習参加者)のフィールドとして提供、地域住民が親しむための森づくりを地元と連携して進め、森林の空間利用を促進すると記載し、今後具体的に検討していきます。	雨森
(2) 企業参画の推進	6	企業の森(滋賀県森林づくりパートナー協定)	31	企業の森(滋賀県森林づくりパートナー協定)	滋賀県のサイト (https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/309701.html) で、滋賀県トラック協会の取り組みを紹介してはどうだろうか。企業側としてはPRになることを期待していると思う。企業側のサイトには情報あり (https://www.shiga-ta.or.jp/hotnews/10004/)。	滋賀県のホームページでも、活動レポート等紹介されています。市のホームページでも紹介しています。	原田
					5年の協定期間が終わるとらっくんの森はどうなるのでしょうか？ 資金提供のできる企業は限られてくると思うので、定期的に森林整備に協力してもらう人的支援を中心とした独自のパートナー協定制りを市でできないのでしょうか？	協定期間が令和6年7月までで、協定期間が終了し、造林公社で管理されています。ご意見を参考に、今後施策の具体化を進める際の参考とさせていただきます。	平井
					資金は企業、場所は森林所有者、支援とは具体的に何をする事なのか？ (3) ③林業体験講座開催とのコラボもありかと考える。	山と企業のマッチングや、活動を希望されているエリアでの候補地の探索など支援をしています。	柴田